



2023年度 バイオマス利用研究特論Ⅱ 第6回

講演



「水圏バイオマスを利用した 新規事業創出の課題と展望 ～微細藻類はCO₂削減に貢献できるか～」

松本 光史 博士

株式会社クボタ グローバル技術研究所
次世代技術研究ユニット
次世代研究第三部 バイオチーム

コーディネーター

岡田 茂 准教授

(水圏生物学専攻 水圏天然物化学研究室)



微細藻は脂肪酸や生物活性化合物、水素、多糖類など様々な有用物質を光合成でつくることができます。脂質を多く含む微細藻から代替燃料を作ることによって炭素排出削減に貢献することも期待されています。微細藻類由来のグリーンオイル生産によって温室効果ガス排出削減を達成するには、経済性をクリアしつつ、低エネルギー、低CO₂排出型の培養・生産プロセスを確立する必要があります。また、微細藻はカーボンリサイクルの手段としても注目されており、微細藻自体の生産性を高める研究開発も進んでいます。様々なポテンシャルを秘めた微細藻を新規事業創出につなげるにはどんな課題があるのか、一緒に考えましょう。

5月26日(金) 16:50~18:35

教室: 農学部1号館7番講義室

information

アグリコクーン産学官民連携室

農学部3号館1階105

03-5841-8882(内線28882)

office@agc.a.u-tokyo.ac.jp <http://www.agc.a.u-tokyo.ac.jp>

